

第2次牧之原市環境基本計画

概要版

牧之原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

牧之原市気候変動適応計画



牧之原市が目指す「望ましい環境像」

うみ・そら・みどりと共生するまち まきのほら



緑豊かな牧之原大茶園や雄大な海岸線など、牧之原市民が思いうかべる“ふるさとの風景、光、音色、香り”を守り、復元していくことで、潤いと安らぎに満ちた環境を創出し、次世代へと継承できる、愛着と誇りの持てるふるさとづくりを進めていく気持ちが込められています。

環境基本計画とは

目的

- ▶ 環境の保全及び創造の観点から、総合的かつ計画的に市の施策及び各主体（市民・滞在者・事業者）の行動を推進します。

第2次牧之原市環境基本計画

牧之原市地球温暖化対策
実行計画（区域施策編）

牧之原市気候変動
適応計画

位置付け

- ▶ 第2次牧之原市環境基本計画は、牧之原市環境基本条例第10条に基づき見直しました。
- ▶ 牧之原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は、地球温暖化対策の推進に関する法律第19条第2項に基づき見直しました。
- ▶ 牧之原市気候変動適応計画は気候変動適応法第12条に基づき新たに策定しました。

対象範囲

- ▶ 自然環境、資源循環、生活環境、地球環境、環境教育の5分野です。

「うみ・そら・みどりと共生するまち まきのはら」の実現に向けた取組

基本目標 1 自然環境

個別目標

- ① 里山・里地・里海を守る
- ② 生きものを守り自然とふれあう
- ③ 景観・歴史文化を大切にす



里山・里地・里海と人をつなぐまち

自然環境や生物多様性の保全、人と自然とのふれあいの促進、景観・歴史文化などにも配慮した総合的な住み心地のよさの向上など、本市の財産である豊かな自然や風土を活かした、人と自然が共生するまちを目指します。

環境指標(抜粋)	単位	基準 H27	現状 R3	目標 R8
地域での清掃ボランティア活動の実施回数	回/年	33	45	50
自然体験学習の実施	回/年	69	74	80
自然環境の保全への取組に対する市民満足度	%	36.8	41.1	43

市民・事業者・滞在者の取組



海岸美化活動に参加する



生きものや自然とふれあう



地域の環境資源を守る

基本目標 4 地球環境

個別目標

- ⑬ 温暖化対策を総合的に進める
- ⑭ 再生可能エネルギーを使う
- ⑮ エネルギーを大切に使う



地球のために行動するまち

2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現のため、全ての人が温暖化防止の活動に取り組むまちづくりを進めます。

「COOL CHOICE (=賢い選択)」を実践しよう!

環境指標(抜粋)	単位	基準 H27	現状 R3	目標 R8
家庭版環境マネジメント参加世帯数	世帯/年	31	152	160
環境マネジメントシステム取得事業所総数	事業所	51	57	70
再生可能エネルギーによる発電設備導入容量	kW	75,096	122,750	169,315

市民・事業者・滞在者の取組



エコドライブを実践する



再生可能エネルギーを導入する



省エネルギー製品を買い替える

基本目標 2 資源循環

個別目標

- ④ 4Rでゴミを減らす
- ⑤ ゴみを適正に処理する
- ⑥ 不法投棄をなくす
- ⑦ 水を大切にす



4R 拒否 (Refuse) 減量 (Reduce) 再利用 (Reuse) 再資源化 (Recycle)

資源を大切にする心を育むまち

花と緑豊かな環境、美しい夜空・音色などの創出や、日常生活や事業活動から発生する大気や水の汚染、騒音・振動や悪臭などの問題をできる限り低減し、安全で安心して暮らせる快適で健康なまちを目指します。

環境指標(抜粋)	単位	基準 H27	現状 R3	目標 R8
市民1人1日当たりのごみ発生量	g/人・日	845	858	780
ごみのリサイクル率	%	27.8	26.6	34
ごみの収集、減量化などの取組に対する市民満足度	%	53.9	54.4	60

市民・事業者・滞在者の取組



詰め替え製品を利用する



資源回収に協力する



節水する

基本目標 5 環境教育

個別目標

- ⑯ 環境について学ぶ
- ⑰ 情報発信や交流を活発にする



環境への想いをつなぎ育てるまち

環境に関する教育や情報の提供、実践活動を推進することで、みんなが環境のことを考え、自らが率先して行動・協働する持続可能な社会の実現を目指します。

環境指標(抜粋)	単位	基準 H27	現状 R3	目標 R8
環境教室の開催数	回/年	21	18	40
環境リーダーの数	人	8	8	20
環境キャンペーンへの参加者数	人/年	584	234	400

市民・事業者・滞在者の取組



環境に関心を持つ



観察会や講演会などに参加する



環境情報を活用する

基本目標 3 生活環境

個別目標

- ⑧ まちを花と緑で彩る
- ⑨ 空気の爽やかなまちにする
- ⑩ 美しい音色のまちにする
- ⑪ きれいな水と土を未来に残す
- ⑫ 安全・安心・清潔に暮らす



クリーン&グリーンを広めるまち

環境負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、資源を有効活用し、豊かな環境の恵みを楽しむ「質」を重視した循環型社会を目指します。

環境指標(抜粋)	単位	基準 H27	現状 R3	目標 R8
市民グループの管理する花壇	箇所	36	29	30
生活雑排水処理率	%	40.7	53.6	70
公害防止協定(環境保全協定)の締結数	件	38	37	40

市民・事業者・滞在者の取組



生垣や花壇の緑を増やす



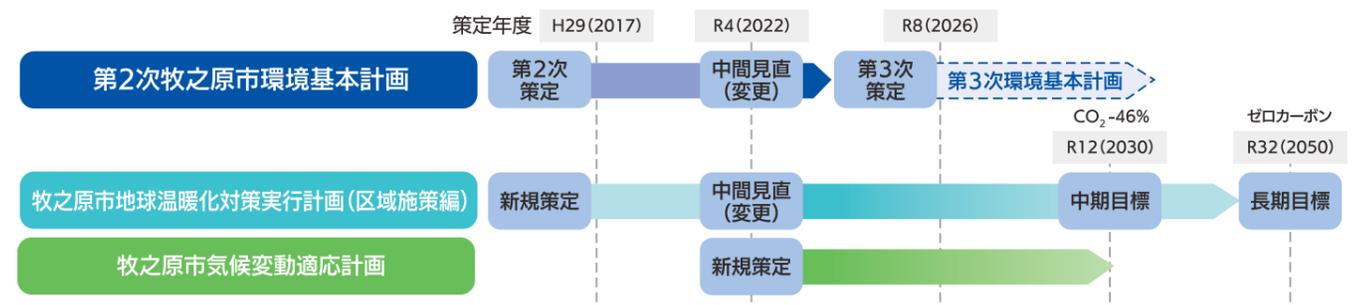
騒音の発生を防止する



水を汚さない

取組を進めていくために

牧之原市が目指す望ましい環境像である「うみ・そら・みどりと共生するまち まきのはら」の実現に向けた取組を進めていくためには、市民、事業者、市、滞在者が様々な環境活動を積極的に実践し、さらには協働して行っていくことが重要です。



地球温暖化対策実行計画（区域施策編）と気候変動適応計画

『地球温暖化対策実行計画（区域施策編）』は温室効果ガスの排出を抑える（原因を少なくする）計画です。
『気候変動適応計画』は既に発生している地球温暖化のリスクに対応する（影響にそなえる）計画です。

かんわ 緩和

原因を少なく

牧之原市地球温暖化対策 実行計画（区域施策編）

- 中期目標●
2030年度までに
温室効果ガス排出量を
2013年度比で46%以上削減
- 長期目標●
2050年度までに
温室効果ガス排出量を
実質ゼロ

緩和のための取組事例

エネルギーを節約・転換しよう！

- 1 再エネ電気への切り替え
- 2 クールビズ・ウォームビズ
- 3 節電
- 4 節水
- 5 省エネ家電の導入
- 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取る
- 7 消費エネルギーの見える化



市民・事業者・滞在者の取組

- 環境に配慮した住まいを検討しよう！
- 食品・食材の無駄をなくそう！
- 衣類・ファッションでもサステナブルを！
- 家庭ごみを減らす工夫をしよう！

てきおう 適応

影響にそなえる

牧之原市 気候変動適応計画

例① 大雨・土砂災害

影響

洪水・浸水被害・
強い台風が増加



適応

ハザードマップを
確認し備える



例② 熱中症

影響

熱中症になる
人が増加



適応

こまめな水分補給や
エアコンの適切な使用



- 気候変動適応の重要性に対する関心と理解を深めよう！
- 自然災害の発生に備えた備蓄をしよう！
- 防災情報の取得や避難訓練への参加をしよう！
- 感染症予防のため虫刺されに注意しよう！

出典：COOL CHOICE ウェブサイト (https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/lets_coolchoice/logo_download/zc-action30/) 及び「目で見る適応策」静岡県版、オリジナル版から牧之原市作成

「第2次牧之原市環境基本計画」の本編は牧之原市ホームページ(<https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>)、相良庁舎、榛原庁舎、図書交流館「いこっと」、榛原図書館等でご覧ください。

第2次牧之原市環境基本計画 概要版

(令和5年3月)

牧之原市 市民生活部 環境課
〒421-0592 牧之原市相良275番地
TEL：0548-53-2609 FAX：0548-53-2889
E-Mail：shimin@city.makinohara.shizuoka.jp

